



水産情報速報版

H18. 3. 3 1182
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行 = 指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. チビッコおさかな料理教室開催

- 県おさかな普及協議会 -

県おさかな普及協議会では2月25日、食育の実践活動の一環として、味覚形成の確定期である幼稚園児を対象に、「五感で体感するおさかな料理教室」を開催しました。

この料理教室は、料理研究家の坂本廣子氏(神戸市在住)を講師に招き、私立南八幡(静岡市)幼稚園の園児12人が、アジを使った魚料理に挑戦しました。

参加した園児は、目を輝かせて一生懸命に料理に挑戦し、また、当日同席した保護者は、普段家では見ることない光景を目の当たりにして、期待と不安感を抱きながら、園児の包丁捌きを見守っていました。

約2時間の間に園児達は、「いり豆ご飯」、「香りすまし汁」、「魚のみそ煮」、「かぶらのごま酢和え」を見事に調理し、保護者とともにできた料理を試食しました。

保護者からは、「初めて包丁を持ち、実際に家で食べるような料理を作ったのにはびっくりした。あまり過保護にならずに、子供が秘めているものを出させたい」、「家に帰ったら、早速子供に料理の手伝いをさせる」などの感想が聞けました。

また、当協議会では、今後も「食育」を視野に入れ、子供たちを対象にした魚料理教室を展開する予定です。

2. 第8回石油部会開催される

- 資料提供JF全漁連 -

JF全漁連は2月22日、2005年度第8回石油部会を開催し、最近の石油情勢を報告するとともに、石油製品の供給価格改定について協議を行いました。

原油市況については、イランでの核開発問題やナイジェリアでの政情不安等から高騰を続け、WTIにおいて1月30日に68ドル/バーレルを超えました。

その後、価格は一時、軟化傾向となったものの、2月18日にナイジェリアで発生した反政府勢力による出荷基地爆破や、OPEC加盟国の供給超過を懸念する発言から、再び上昇基調に転じています。

一方、国内石油情勢は新日本油精製・室蘭製油所(180千バーレル/日)において、2月6日に火災事故が発生し、同製油所でのトッパー(常圧蒸留装置)の稼働は5割程度となっており、新日本石油では他製油所からの製品転送や市中購入等で対応していること、また元売各社が今春以降の定期修理を控え、製品在庫の積み増しを図っていることから、製品の需給は引き続きひっ迫することが予想されます。

こうした状況の中、国内石油元売各社は1月(2月1日実施)の値上げ(kℓあたり2,000~2,400円)に続き、2月(3月1日実施)にもkℓあたり1,400~2,000円程度の値上げを実施することが予測されます。

JF全漁連では、国内石油元売り各社から仕切り改定に伴う強い値上げ要請を受けることが予想されること、コストアップ分の可能な限りの吸収に努め、安定供給を維持していく方針について説明し、供給価格改定(値上げ)の実施を決定しました。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

3. ウナギ産卵場所を発見 グアム北西部海域と特定

東京大学海洋研究所では、ニホンウナギの孵化直後の仔魚を世界で初めて発見し、産卵地点をグアム島北西の海域に特定できたと発表しました。

ウナギは現在、仔魚から稚魚(シラスウナギ)への種苗生産が成功するなど、産卵から成魚までの「完全養殖」の基本技術の確立に目途が立ちつつありますが、シラスウナギに育つ割合が極めて低いなど未だ実用化には至っていません。依然として、天然のシラスウナギを人工的に育てる養殖に頼るのが実状となっています。しかし、同研究所は、産卵地の特定により、仔魚の生育に適した水温や環境などが詳細に分かることにより、完全養殖へつなげる可能性があるとしています。

同研究所はこれまでの調査により、ニホンウナギの産卵地は、マリアナ諸島西部の海域と推定していました。そこで平成17年6月、海洋研究開発機構の学術研究船・白鳳丸(3,991ト)で、同海域での仔魚の採集に挑戦した結果、まだ目も口もできていない、全長4.2~6.5mmの孵化直後の仔魚を大量に採集し、DNAをもとに遺伝子検査を行なったところ、少なくとも130尾以上がニホンウナギであることが分かりました。また、内耳の組織の調査で、生後2~5日目と判明し、付近の海流の速度から逆算し、産卵地点をグアム島北西部の北緯14度、東経143度にある海山(スルガ海山)付近と特定しました。

4. 大型クラゲの出現状況 太平洋側では終息へ

水産庁と水産総合研究センターでは、2月23日現在までの大型クラゲ出現状況などの集計速報を取りまとめました。

それによると、大型クラゲの出現、入網数は全体的に少なくなってきており、日本海側は山口県萩市沖から青森県深浦沖まで出現報告が寄せられていますが、海域によっては、ほとんどがへい死個体の入網となっている報告が寄せられています。また、太平洋側での出現報告がなくなりました。

5. 本会人事異動 3月1日付で発令

本会では3月1日付けで、人事異動を発令しましたのでお知らせします。(カッコ内は旧役職) 焼津事業所次長 西野朝善(賀茂出張所長) 賀茂出張所所長心得 平尾敬義(焼津事業所購買主任) 焼津事業所購買主任 岩ヶ谷寿保(資材課主任) 組合課主任兼漁協合併推進室 前田 努(焼津事業所販売主任) 沼津事業所 扇山翔太(焼津事業所) 焼津事業所 桐林義彦(経理課) 経理課 松本有未(総務課)

6. 諸会議・日程(3月7日(火)~3月20日(月))

- 既報分省略 -

3月 9日(木) 県漁業振興基金 = 評議員会・理事会 (県水産会館)

3月14日(火) 県旋網漁業者協会 = 通常総会 (伊豆の国市)

〃 県漁業振興基金 = 地区代表漁業公害担当職員会議 (ブケ東海)

3月15日(水) 県漁連 = 指導対策委員会幹事会 (県水産会館)

3月17日(金) JF静岡女性連 = 県漁協女性部大会 (あざれあ)

3月20日(月) 県漁連 = 温水利用センター運営協議会理事会 (県水産会館)

〃 〃 = 理事会 (〃)

〃 〃 = 指導対策委員会 (〃)

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう